



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

News Letter to Arts Crew

12月号—No.260

2016.11.25

(毎月1回25日発行)



シュガーホールオーケストラ ニューイヤーコンサート
(沖縄県南城市)

●目次／contents

今月のニュース.....2

「ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース」

「文化政策幹部セミナー」 報告

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー.....4

今月の情報.....8

地域通信

財団からのお知らせ.....11

平成28年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」広島セッション ガラコンサート開催／平成29年度ステージラボ開催地のお知らせ／平成28年度「邦楽地域活性化事業」(島根県) スタート／新理事長の就任について

今月のレポート.....12

愛知県豊橋市 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 高校生と創る演劇『女子にしか言えない〜プールの底で見た、私の幻燈〜』

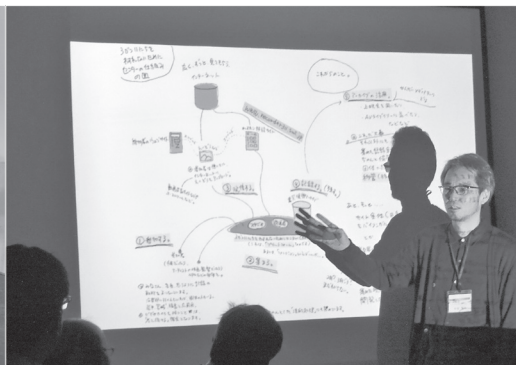
「地域と人をつなぐ芸術文化活動」をテーマに開催

ステージラボ
公立ホール・劇場
マネージャーコース

2016年10月12日～14日

文化政策幹部セミナー

2016年10月12日、13日



地域創造では公立文化施設のマネージャークラスおよび自治体の文化政策幹部職員を対象とした研修事業としてステージラボ「公立ホール・劇場 マネージャーコース」(以下、マネージャーコース)と「文化政策幹部セミナー」(以下、幹部セミナー)を同時開催し、文化施設と行政組織の相互交流を図っています。今年度は、ニッセイ基礎研究所の大澤寅雄さん(マネージャーコース)と鳥取大学教授の野田邦弘さん(幹部セミナー)をコーディネーターに迎え、地域創造会議室を会場に開催されました。

近年、公立文化施設は劇場法で謳われているように「人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点」となるべく、これまで以上に地域の住民や文化活動との連携が求められています。そうした観点を踏まえ、今回は、「地域と人をつなぐ芸術文化活動」を両コースの共通テーマとして設定。平成24・25年度調査研究で提唱した「文化的コモンズ」(報告書は当財団ウェブサイトからダウンロード可能 <http://www.jafra.or.jp/j/library/investigation/24-25/index.php>)の考え方を踏まえ、誰もが文化的な営みに参加できる地域のあり方について活発な議論が行われました。

●市民の生活と向き合う～マネージャーコース

マネージャーコースではコーディネーターの大澤さんが、地域の文化活動を自然系の生態系のサイクルに例え、「地域の文化活動を持続可能にしていくためには、公立文化施設が“ピオトープ”のようにそれぞれの活動を循環させて

いく場になる必要があるのではないか」と問題提起。これを受けて、各ゼミでは地域の文化活動の実践者から事例紹介が行われました。

那覇市のNPO法人地域サポートわかさの事務局長であり若狭公民館の館長である宮城潤さんは、地域のさまざまな社会的課題(経済的貧困、文化的貧困など)へ向き合うにあたり、「発信するよりも受信する感覚が必要」という観点から、市民からの持ち込み企画を連携事業として実施している取り組みが紹介されました。「市民の切実な思いを汲み取る当事者意識を地域の施設はもつ必要があるのではないか」と宮城さん。

また、NPO法人STスポット横浜理事長の小川智紀さんは、横浜市において体系的に取り組んでいる“横浜市芸術文化教育プラットフォーム”について紹介。「広域にわたる市内小学校へアウトリーチを実施していくことは、経済的格差等を背景とした文化的格差を埋めていく“文化の最低保障”を担保することだ」と言い、中間支援組織としてのこうした考え方が持続的な活動に繋がっていると指摘されました。

マネージャーコースの最終日は、小金井市を拠点とするNPO法人アートフル・アクションへ会場を移してゼミを開催。事務局長の宮下美穂さんと、昨年度から同NPOのプロジェクトをディレクションしているアーティストのアサダワタルさんから、市民や行政、アーティストが協働して実施したプロジェクトの背景や構造についてお話をうかがいました。

アサダさんは自らを“日常編集家”と名乗り、

写真

左: NPO法人アートフル・アクションで行った公立ホール・劇場マネージャーコースゼミ7の様子(講師: アサダワタルさん)

右: 文化政策幹部セミナーゼミ3の様子(講師: 甲斐賢治さん)

▼ 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

「表現をきっかけにコミュニティを編み直し、立場の違いや互いの価値を認め合う」ためのさまざまな手法を考案してきたアーティストです。「公立ホールは、市民の表現活動のプロセスを発表する場として位置づけることができる。つまり、公共ホールに地域の価値を編集したものを集めることで、再びそれを地域に拡散していくことができる」とアサダさん。こうした公立ホールをメディアとしてとらえる考え方は「文化的コモンズ」に通じるものであり、公立ホールのコーディネート力について再認識させられました。

また、宮下さんも自分たちの活動を「誰が主体であるわけでもなく、中心をもたない場であることによって、市民のそれぞれの日常的な背景が活かされていくもの」と説明。施設の枠組みや制度にとらわれないそのスタンスは、ホール等で働く参加者にとって刺激的なものだったのではないのでしょうか。

●政策としてのアート～幹部セミナー

幹部セミナーではコーディネーターの野田さんが、まず、地方文化行政の変遷と、文化が都市と市民の創造性を喚起させる理論的な根拠、社会政策として活用されている現状について概説。それを受けて、今年初めて開催された「さいたまトリエンナーレ」のディレクターを務める芹沢高志さんを講師に迎え、アートプロジェクトの現場から見たアートの公共性について多角的な議論が行われました。芹沢さんはアートが行政のロジックのみで理解されることに警鐘を鳴らし、「アートは物ではない。人の営みであり、プロセスとして理解することが大事。行政のロジックでは課題を解決するものとして理解されがちだが、そうではなくて問題を提起するものとしてとらえるべきではないか」と本質的な問いかけをされていました。

次に、せんだいメディアテークの甲斐賢治さんが、震災後に「市民力」を育む重要性が増していった状況を踏まえて、施設のコンセプトを説明されました。「サービスを提供する側とされる側という立場で固定化せず、常に反転させ

ていく」ことで、市民を支援することから市民と協働することに舵を切っていく実践についてお話いただきました。



両コース共通プログラムでは、地域創造理事であり、劇作家・演出家の平田オリザさんと横浜市文化観光局文化振興課主任調査員の鬼木和浩さんが登壇。平田さんは、最新著作のタイトルにもなっている「下り坂をそろそろと下る」をテーマに、少子高齢化社会を迎える日本において芸術文化を活用した教育改革の意義などについてお話されました。また、鬼木さんは、「自治体文化政策を徹底解剖する」と題して、自治体組織の構造やロジックをわかりやすく解説。共通プログラムを受けて、両コースの参加者がそれぞれの現場で抱える課題を相互にプレゼンテーションし、それに対して意見交換しながら議論を深めていくグループワークも行われました。



上: 共通プログラム1の様子
(講師: 平田オリザさん)
下: 共通プログラム グループディスカッションの様子

ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース／文化政策幹部セミナー スケジュール

	ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース	文化政策幹部セミナー
10月12日	ゼミ1「文化的コモンズの視点から考えるホール運営」 大澤寅雄	ゼミ1「地方の文化政策が目指すもの～文化と地域づくり」 野田邦弘
	ゼミ2「若狭公民館の取り組みについて」 宮城潤	ゼミ2「生態学的地域計画と未来予測」 芹沢高志
	ゼミ3「ST spot YOKOHAMA」 小川智紀	ゼミ3「せんだいメディアテークのとりくみ」 甲斐賢治
	交流会	
10月13日	共通プログラム1「下り坂をそろそろと下る」 平田オリザ	
	共通プログラム2「自治体文化政策を徹底解剖する」 鬼木和浩	
	ゼミ4「グループワーク」 大澤寅雄、小川智紀、木村覚	ゼミ4「グループワーク」 野田邦弘、鬼木和浩
	ゼミ5「社会的課題とダンスをつなぐ」 木村覚	ゼミ5「総論」 野田邦弘
10月14日	ゼミ6「「場」をつくることについて考えてみる、そして、場から「場所」を考えてみる」 宮下美穂、アサダワタル	修了式
	ゼミ7 同上 アサダワタル、宮下美穂	
	ゼミ8「総論」 大澤寅雄	
	修了式	



クリスマス&年越し・新春企画特集

恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

Ⓔは出演者(講師等)、Ⓕは会場、Ⓖは問い合わせ先です(Ⓖは地域創造助成事業)。

写真

左上: 金沢21世紀美術館「Merry Marubi Christmas」(石川県金沢市)
撮影: 池田ひらく 提供: 金沢21世紀美術館

右上: 軽井沢大賀ホール「軽井沢少年少女合唱団&軽井沢ファミリーオーケストラ クリスマスコンサート」(長野県軽井沢町)
©軽井沢大賀ホール

左下: パティオ池鯉鮒「パティオDEクリスマス」(昨年の館内イルミネーション)(愛知県知立市)
©パティオ池鯉鮒

右下: びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート(滋賀県大津市)
©びわ湖ホール

クリスマス企画

●北海道滝川市 12月18日
たきかわ市民劇第5回公演
『クリスマス・キャロル』

2012年以来毎年制作されている市民参加音楽劇。当初から滝川出身の演出家・伊藤明子の指導により、舞台づくりに取り組んでいる。5回目の今年は6歳から大人まで総勢27人が出演。舞台美術や衣装、広報宣伝などにも市民スタッフが携わる。

Ⓔたきかわホール
ⒺNPO法人空知文化工房
Tel. 0125-23-6005

●青森県八戸市 11月26日～12月25日
はっちのクリスマス2016

2011年の開館以来継続しているクリスマスを彩る企画。巨大イルミネーションツリー点灯や、市民の企画を公募して開催する展示&ワークショップ、ミニコンサート、スイーツイベントなど、連日多彩なジャンルの催しが行われる。

ⒺⒼ八戸ポータルミュージアム
はっち Tel. 0178-22-8228

●さいたま市 12月18日
プラザノース de クリスマス
毎年好評を得ている、親子で楽しむクリスマスコンサート。埼玉

県出身の東京藝大OBによるアンサンブル「Music Players おかわり団」の演奏で、お馴染みのクリスマスソングが0歳児から楽しめる。

Ⓔさいたま市 プラザノース
Tel. 048-653-9255

●埼玉県草加市 12月24日
オリジナル市民音楽劇 歌とダンスのファンタジーⅧ『メリー・クリスマス狂詩曲(ラプソディ)』

個人や団体の垣根を越えて市民の力を結集し、“音楽のまち”草加の新たな文化の担い手を育てることを目的に2009年にスタートした市民参加公演。8回目の今回は、サンタ会議で報告されるクリスマスに起こるさまざまな人間模様を、約180人の市民が演じる。歌やダンス、朗読などが融合した音楽劇とすることで、参加者がさまざまな芸術にふれる機会を提供している。

ⒺⒼ草加市文化会館
Tel. 048-931-9325

●東京都江戸川区 12月10日
山田和樹×東京混声合唱団「クリスマスコンサート」～聖なる季節にあなただけ贈るハーモニー～

国内外で活躍中の若手指揮者・山田和樹と、彼が音楽監督を務める東京混声合唱団によるクリスマスコンサート。合唱の名曲

やクリスマスソング、昔なじみの童謡などバラエティに富んだプログラム。山田が日本の伝統文化の掘り起こしと伝承に目を向けて選んだ柴田南雄『萬歳流し』はシアターピースの演出で演奏される。

ⒺⒼ江戸川区総合文化センター
Tel. 03-3652-1106

●横浜市 12月11日
第32回小さな丘のメリークリスマス

市民ボランティアで構成された実行委員会との共同企画で、手づくりの暖かみのあるイベントとして地域で親しまれている伝統のクリスマスイベント。子どもたちがリコーダーや打楽器で参加できるクリスマスコンサートや、パネルシアター、クリスマスリースづくり教室などを実施。ギャラリーではクリスマスにちなんだ作品展も開催(12月8日～)。

ⒺⒼ横浜市大倉山記念館
Tel. 045-544-1881

●石川県金沢市 12月23日
music@rt Season 10
「Merry Marubi Christmas」

オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)と金沢21世紀美術館が共同で開催しているコンサートシリーズ「music@rt」恒例のクリスマスバージョン。OEKメンバー

やOEKエンジェルコーラス(少年少女合唱団)により、クリスマスにちなんだ名曲が美術館で奏でられる。

☎ 金沢21世紀美術館
Tel. 076-220-2811

●長野県松本市 12月16日

夜オルガンVol.5「オルガンが奏でるクリスマス～音楽と語りで紡ぐ～」

気軽にパイプオルガンの音色にふれることができるホールオルガニスト・原田靖子によるワンコインコンサートシリーズ。毎回多彩なゲストを招き、テーマにちなんだプログラムで開催している。今回は、クリスマス・キャロルや聖歌などクリスマスにちなんだオルガン音楽を集めてお届けする。

☎ 松本市音楽文化ホール
(ザ・ハーモニーホール)
Tel. 0263-47-2004

●長野県軽井沢町 12月4日

軽井沢少年少女合唱団&軽井沢ファミリーオーケストラ
クリスマスコンサート

ホールで活動する軽井沢少年少女合唱団と軽井沢ファミリーオーケストラによる恒例のクリスマスコンサート。どちらのグループも年間を通じて練習に取り組み、ホールだけでなく近隣の施設やイベントでのお出かけ演奏会など積極的な活動を展開している。

☎ 軽井沢大賀ホール
Tel. 0267-42-0055

●静岡市 12月23日

子どものためのコンサート クリスマス★コンサート《ミュージカルの世界》

今年は名曲『サウンド・オブ・ミュージック』を中心に、静岡音楽館AOIゆかりのアーティストたちがクラシックの名曲の数々を奏でる。通年で開催している教育プ

ログラム「子どものための音楽ひろば」を受講する地元の小中学生たちも合唱で参加し、舞台上に花を添える。

☎ 静岡音楽館AOI
Tel. 054-251-2200

●名古屋市 12月25日

昭和文芸小劇場 開館記念コンサート「Happy Christmas」

12月14日オープン予定の昭和文芸小劇場の開館記念公演のひとつ。地元在住の音楽家や高校・中学校音楽部が出演し、聴き覚えのあるクリスマスソングやオペラ『ヘンゼルとグレーテル』の二重唱などを披露。未就学児も入場可能。

☎ 昭和文芸小劇場
Tel. 052-751-6056

●愛知県春日井市 12月10日～25日

展覧会&ワークショップ wish a merry ぬくぬくChristmas!

文化フォーラム春日井のクリスマスを、美術家・堀口葵がプロデュース。思わず触れてみたくなるような幻想的な作品で、交流アトリウムの巨大空間を彩る。会期中毎日開催されるワークショップ「クリスマス飾りをつくろう!」では、家庭に眠るリボンやボタンなどの素材を使ってクリスマスにピッタリの飾りをつくり、作品はギャラリーに展示される。

☎ 文化フォーラム春日井
☎ かすが市民文化財団
Tel. 0568-85-6868

●愛知県知立市 12月16日～25日
パティオDEクリスマス2016

2000年の開館時から開催しているクリスマス事業。恒例の館内イルミネーションは、昨年に続き光の切り絵作家・酒井敦美とのコラボレーションで、幻想的な雰囲気に包まれた館内ではパティオちりゅう少年少女合唱団や

t o p i c s

●地域とアーティストを繋ぐプロジェクトがスタート
立川シアタープロジェクトpresents 子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台vol.1『音楽劇 アラビアンナイト』

廃校となった多摩川小学校の校舎や体育館などの貴重な資源を生かし、プロフェッショナルが集まる文化創造のための活動拠点として2015年にオープンした「たちかわ創造舎」では、立川市を中心に多摩エリアで多岐にわたるプログラムを展開しています。

そのひとつとして立川市・立川市地域文化振興財団・たちかわ創造舎の三者が集い、今夏から「立川シアタープロジェクト」が始まりました。たちかわ創造舎で夏に上演された、すこやかクラブによる体験型お化け屋敷演劇『真夏のたちかわ怪奇クラブ』や、秋に立川市子ども未来センター・芝生広場で上演された風煉ダンスの野外劇『スカラベ』、劇団「鮭スベアレ」による中高生を対象に開催された演劇ワークショップを後援したほか、この冬はクリスマスに合わせて「子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台」第1弾を主催し、低料金にて0歳から楽しめる『音楽劇 アラビアンナイト』の公演をたましんRISURUホール大ホールで行います。いずれも、たちかわ創造舎の「シェア・オフィス・メンバー」をはじめ、立川を拠点に演劇活動をしたいというプロフェッショナルなアーティストたちの思いを受けとめ、立川シアタープロジェクトが支援を行った例です。

チーフ・ディレクターでもあるTheatre Ort(シアター・オルト)の倉迫康史さんは「立川市は多摩エリアの中心に位置すると同時に都心にも近いため、地域密着型の活動をしながら、他の地域や世界に向けての発信拠点となりうるところ。立川市を創造環境と発信環境にすぐれた街にしていきたい」と語ります。立川市にアーティストが集まることで、地域やまちが更に面白くなり未来のアーティストが誕生することに期待が寄せられます。

●東京都立川市 12月23日、24日

☎ たましんRISURUホール
☎ たちかわ創造舎
Tel. 042-595-6347
<http://tachikawa-sozosh.jp/>



風煉ダンスの野外劇『スカラベ』

クラシックなどのコンサート、クリスマスにちなんだ工作教室などが行われる(19日は休館)。
☎ パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) Tel. 0566-83-8100

●鳥取県鳥取市 12月10日～25日
砂の美術館クリスマス特別企画
3Dプロジェクションマッピング

「砂の美術館」は砂丘のまち・鳥取で2006年に第1期展示を開催

して以来、毎年テーマを変えながら世界的な砂像彫刻家による砂の彫刻「砂像」を展示し、これまでに入場者は300万人を突破する人気施設。第9期の今シーズンは「砂で世界旅行・南米編」と題して、マチュピチュやアマゾンなどさまざまな遺跡や名所、生活文化などを精緻に再現している。クリスマス期間は、砂像にプロジェクションマッピングで

3D映像を映すイベントを開催。
☎️鳥取砂丘 砂の美術館
Tel. 0857-20-2231

●北九州市 12月24日、25日
高校生[的]シアター クリエーション体験「ハレハレ。」

築100年の民家を舞台に、高校生キャストと地域の演劇人による作品創作体験を実施。日常に溢れる音や香り、クリスマスという祝祭という対照的な時間と存在が物語を繋ぎ、今を生きる高校生たちのとある日々のひとコマを描く。作・演出は劇団「演劇関係いすと校舎」の守田慎之介。
☎️路地裏ギャラリーもじろじ
☎️北九州市芸術文化振興財団
Tel. 093-562-2655

●大分県大分市 12月17日、18日、23日、25日(予定)

HEart OF Christmas! 2016
アートによる地域振興、にぎわいづくりを進めることを目的とした今年で4回目になる一大アートイベント。クラシックコンサートやワークショップなどでさまざまなアートにふれる「五感を使って遊ぶゾウ!」、県内トップクラスの中学生、高校生が成果を披露する「芸術文化祭ミラ☆スタ」など、大人から子どもまでが楽しめる多彩なプログラムを予定。
☎️iichiko総合文化センター、ガレリア竹町、セントポルタ中央町ほか
☎️大分県芸術文化スポーツ振興財団 Tel. 097-533-4011

年越し・新春企画

●岩手県北上市 12月31日
FINAL LIVE 2016

プロアマを問わず、市民がさまざまなジャンルの音楽を演奏できる参加型公演。観客の投票を行い、優秀者にはレコーディング権などの賞品が贈られる。館内には1日限りの楽器屋や飲食店

も出店。ホワイエ特設ステージではアコースティックライブも開催される。
☎️北上市文化交流センターさくらホール Tel. 0197-61-3300

●茨城県日立市 1月15日
第20回ニューイヤーオペラコンサート 愛のメッセージは歌に乗せて

オペラによるまちづくり、地域文化の活性化等を目的に発足した「市民オペラによるまちづくりの会」が主体となって制作している恒例の新春コンサート。今年はイタリア・オペラの巨匠ロシーニ、ドニゼッティ、ベッリーニの作品と、メノッティの代表作のひとつであるオペラ《電話》が披露される。
☎️日立シビックホール
☎️ひたち市民オペラによるまちづくりの会、日立市民科学文化財団 Tel. 0294-24-7755

●群馬県甘楽町 1月9日
新春「かんら能」

例年、秋に薪能として開催している能や狂言の公演を初めて新春に開催。新年と成人の日のお祝いに相応しい演目、能「小鍛冶」(第20代宝生流宗家 宝生和英ほか)、狂言「盆山」などを上演。辰日満次郎氏(重要無形文化財総合指定)による解説も行われる。地元の能愛好グループ「羽衣会」による前座公演も予定。
☎️甘楽町文化会館
Tel. 0274-74-7000

●東京都豊島区 1月14日
豊島区管弦楽団&吹奏楽団 ニューイヤーコンサート

40年以上続く、豊島区に在住・在学・在勤中の市民によって結成された2つの楽団によるコンサート。管弦楽団は、馴染みの深い春らしいクラシックを演奏。

吹奏楽団は、お正月に楽しめるような曲を演奏する。若い層にもオーケストラを聴く機会を提供することを目指し、中学生以下は無料。両楽団のチケット購入で割引となる。
☎️東京芸術劇場
☎️としま未来文化財団
Tel. 03-3590-7118

●東京都三鷹市 1月14日、15日
小学校訪問演奏 アーティストによるニューイヤー・ファミリーコンサート2017

子どもたちに生のクラシック音楽の魅力を発信することを目的とした体験型コンサート。小学校訪問演奏アーティストを招き『くるみ割り人形』を公演、最後は三鷹市立第六小学校の合唱団と会場全員で『ふるさと』を歌うほか、管楽器体験ワークショップや、みたかジュニア・オーケストラ団員がサポートする管楽器体験コーナーも有り。
☎️三鷹市芸術文化センター
☎️三鷹市スポーツと文化財団
Tel. 0422-47-5122

●横浜市 12月29日
ファンタスティック・ガラコンサート2016

2006年にスタートした、1年の締めくくりに日本を代表する音楽家やダンサーが一堂に会するオペラとバレエのガラコンサート。11回目となる今年は松尾葉子の指揮、宮本益光(バリトン)の司会で、ヴァイオリンの石田泰尚とバレエの上野水香によるリベルタンゴなど、オペラとバレエの名曲の数々が演奏される。
☎️神奈川県民ホール
Tel. 045-633-3798

●横浜市 12月31日
ジルヴェスターコンサート 2016-2017

行く年来る年がアニバーサリー

イヤーにあたる作曲家の作品を中心に選曲する毎年恒例のコンサート。飯森範親の指揮の下、ソリストには徳永二男、漆原啓子、漆原朝子らベテランから若手までが勢揃いし、高校3年生のヴァイオリニスト・吉田南も出演する。
☎️横浜みなとみらいホール
Tel. 045-682-2020

●川崎市 12月31日
MUZAジルベスターコンサート 2016

大山太輔(バリトン)の司会・構成により指揮者の井上道義とベートーヴェン、J.シュトラウスII世に焦点を当てた、毎年恒例のコンサート。東京交響楽団のメンバーを中心とした特別編成のMUZAジルベスター管弦楽団と共に、ベートーヴェンの人生を辿りながら年越しを盛り上げる。
☎️ミュゼザ川崎シンフォニーホール Tel. 044-520-0200

●新潟市 12月31日
にいがたジルヴェスター・コンサート2016

4年ごとの開催が恒例となった今年で5回目のジルヴェスターコンサート。ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」など「第5」をテーマとした演目を予定。秋山和慶の指揮、東京交響楽団の演奏により、21:15の「開場ファンファーレ」から4部構成で2017年を迎える。
☎️りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館
☎️新潟市芸術文化振興財団 Tel. 025-224-5521

●富山県南砺市 1月1日
ヘリオス元旦コンサート2017

ヘリオス常任ピアニスト・岡田知子がプロデュースする恒例の元旦コンサート。毎年夏に開催するフェスティバルから生まれた市民楽団のスキヤキ・スティー

ル・オーケストラ(SSO)から選抜されたメンバー「SSOパンサンブル」も出演する。

☎ 福野文化創造センターヘリオス Tel. 0763-22-1125

● 石川県金沢市 12月31日

年末願掛けライブ 真冬の音魂

クラシックやロック、ポップス、ジャズ、アカベラなどジャンルを問わず、誰でも出演可能な毎年恒例となる音楽ライブ。公募から審査を通過した6〜8組の個人プレイヤー、バンド編成アーティストが大晦日から元旦にかけての熱い夜を盛り上げる。

☎ 金沢市民芸術村
Tel. 076-265-8300

● 静岡県掛川市 12月4日〜1月20日

掛川ひかりのオブジェ展

掛川駅から掛川城までの駅通りを、市民・企業・生徒学生・地元商店街などによる「手づくりのひかりの造形」で彩るイベント。今年で17回目。学生には制作費用の補助制度を設け、親子向けとして夏にワークショップも開催し、多くの市民に参加しやすい機会を提供している。

☎ ひかりのオブジェ通り(駅通り〜城下通り)

☎ 好きです! かけがわのまち実行委員会 Tel. 0537-61-1151

● 滋賀県大津市 12月31日

びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート2016-2017

恒例のカウントダウンコンサート。桂米團治が司会を務め、岩田達宗の演出、沼尻竜典の指揮にて開催。ソリストに堤剛を迎えるほか、シベリウスの交響詩『フィンランディア』の珍しい合唱付き版などの楽曲を大阪交響楽団が演奏する。合唱団とファンファーレ隊には一般公募の市民も加わる。

☎ 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール Tel. 077-523-7136

● 岡山県真庭市 12月18日

エスパス第九演奏会

市民参加型育成事業「エスパスオリジナルス」のひとつにあたり、2001年に設立されたホール付属の市民合唱団と、地元真庭市のほか県内外から集まる若手演奏家を中心に編成するエスパス第九管弦楽団が共演する毎年恒例の第九演奏会。合唱団は小学1年生から大人まで80人の団員が成果を披露する。

☎ エスパスホール
☎ 真庭エスパス文化振興財団
Tel. 0867-42-7000

● 山口県防府市 1月6日〜9日

第16回防府音楽祭 ほうふニューイヤーコンサート2017

防府市出身のチェロ奏者・田中雅弘を音楽監督に迎え、市内各所でのオープニング街角コンサートをはじめ、アスピラート市民スペースでのプロムナードコンサートや、こども合唱教室など財団育成事業とプロアーティストの共演で作るコンサート。今年はオルガンをクローズアップし、クラシックオルガン(電子オルガン)とポジティブオルガンが登場する。

☎ 防府市地域交流センターアスピラートほか ☎ 防府市文化振興財団 Tel. 0835-26-5151

● 福岡市 12月31日

第九で年越し! 福岡ジルヴェスターコンサート2016

年越しの瞬間を音楽を通じて共有し、楽しい時間を過ごすことを目的として2014年から開催。プロアマ混合の総勢100名以上になるオーケストラと、初心者でも参加可能な市民合唱が集い第九を共演する。合唱は随時参加可能。当日はウェルカムロビーコンサートや、コンサート終了後の初詣バスツアーなどが企画されている。

t o p i c s
● 日本語による合唱を見つめ直す試み
環日本海芸術交流プロジェクト「グラントワ・カンタート2017」

島根県芸術文化センター「グラントワ」では前身の旧石西県民文化会館時代の2004年から「いわみ合唱塾」を毎年開催し、09年には合唱団を結成するなど、合唱に積極的に取り組んできました。そのグラントワで、「言葉」に焦点を当て、「日本語による合唱」を共に考え、共に歌う「グラントワ・カンタート」が初めて開催されます(「カンタート」とは合唱のためのコンサート・セミナー等を一定期間継続して行うイベント)。

今回は全国から集まった合唱団20団体が、日本語の美しさをいかに表現できるか競う合唱コンクールや、日本語と合唱の魅力を探るレクチャーを開催。最終日には「フレンドシップコーラスコンサート」と銘打って、ロシア沿海地方友好交流25周年を記念してロシア国立極東連邦大学合唱団と、10年ぶりの姉妹都市交流となる寧波大学芸術学院合唱団をゲストに迎え、全27団体が歌を披露します。お互いの母語を聞き、合唱により通じ合うことを目的に、最後は全員で信長貴富作曲の『ことばは魔法』(委嘱初演)を合唱します。

「ヨーロッパでは国際コンクールが地方で続けられているように、益田でも楽器を必要とせず、大人数で参加することのできる合唱で地域の文化発信、活性化に繋げていきたい。また、日本海に面した立地を活かし、「向こう三軒両隣」といわれるようにアジア諸国とも合唱を通じて交流を深めていきたいと夢見ています」と担当の佐々木真美さん。島根県から全国、アジアと合唱の輪が広がっていくのが楽しみです。

● 島根県益田市 1月6日〜8日

☎ 島根県芸術文化センター「グラントワ」 Tel. 0865-31-1860
<http://www.grandtoit.jp/theater/index.html>

フレンドシップコンサートに参加する「いわみNEXT CHOIR(石見地方の中高生80人で結成)」の練習風景



トや、コンサート終了後の初詣バスツアーなどが企画されている。

☎ 福岡サンパレスホール
☎ 福岡ジルヴェスターコンサート実行委員会 Tel. 092-821-1281

● 沖縄県南城市 1月15日

シュガーホールオーケストラニューイヤーコンサート

毎年恒例となっているシュガーホールオーケストラやジュニアコーラスが出演する親子でも楽

しめるコンサート。第1部は瀧村依里による“新春を彩るヴァイオリンの名曲集”。第2部は、“春のカーニバル”と題し、シュガーホール版『かぎやで風』、『動物の謝肉祭』を披露。ストーリーも演出も沖縄の伝統芸能と融合させ、クラシック音楽を多様な回路で楽しめるシーンを盛り込んでいる。

☎ 南城市文化センターシュガーホール Tel. 098-947-1100

地域通信

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示しているのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 宇野・小川

●2017年2月号情報締切

1月3日(火)

●2017年2月号掲載対象情報

2017年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

地域創造ウェブサイト「人材ネットバンク」
掲載情報募集

当財団ウェブサイト内に以下の情報を掲載するページを設けています。

◎公共ホール等の求人情報

◎公共ホール等で実施する人材育成研修の開催情報

掲載・申込方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jafra.or.jp/>

北海道・東北

●札幌市

札幌劇場連絡会事務局
〒063-0841 札幌市西区八軒1条西1丁目2-10(コンカリーニョ内)

Tel. 011-615-4859 斎藤ちづ

<http://www.s-artstage.com/2016/tgr>

TGR2016 札幌劇場祭

市内の公立・民間10劇場が連携し、演劇やお笑い、人形劇など、道内のさまざまな作品を上演し企画を競い合う劇場の祭典。毎年開催し、今年で11回目を数える。最も優れた作品に「札幌劇場祭大賞」を授与し、受賞カンパニーには賞金20万円と翌年再演の場合の制作費として30万円、翌年の札幌劇場祭参加権(会場費無料)を提供する。

[日程] 11月5日～12月6日

[会場] シアターZOO、札幌市教育文化会館、こども人形劇場こぐま座ほか札幌市内各所

●仙台市

せんだい演劇工房10-BOX

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-12-9

Tel. 022-232-5987 岩村空太郎

<http://www.morigekisai.com/>

杜の都の演劇祭2016

仙台のまちなかにあるお店を会場としてリーディング(朗読劇)形式で上演を行う演劇祭。9年目を迎えた本年度は「ひろがって」をテーマに、新たな試み「フリンジプログラム」(公募によって参加者を募る、県内外の劇団の自主上演)などを開始。演劇と食による豊かな時間を提供する。

[日程] 12月15日～2017年2月18日

[会場] 仙台市内カフェやレストラン

関東

●栃木県足利市

足利市民会館

〒326-0801 足利市有楽町837

Tel. 0284-41-2121 長谷川・小林

<http://shimin-kaikan.ashikaga-mbs.or.jp/>

足利ミュージカル監修 市民ミュージカル公演『アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーン』

平成25年に発足した劇場専属プロフェッショナル芸術団体「足利ミュージカル」監修の6年ぶりとなる市民ミュージカル。参加する子どもたちがミュージカル俳優を目指すきっかけ作りの場となる。子どもから大人まで約60人の市民と、足利ミュージカル団員、元タカラジェンヌが共演し舞台を盛り上げる。

[日程] 12月11日

[会場] 足利市民会館

●さいたま市

埼玉県芸術文化振興財団

〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1

Tel. 048-858-5503 田中美樹

<http://www.saf.or.jp/arthat/stages/detail/3773>

1万人のゴールド・シアター2016
『金色交響曲～わたしのゆめ、きみのゆめ～』

高齢者劇団さいたまゴールド・シアターを率いてきた故・蜷川幸雄芸術監督の「高齢者にも、もっと外に出て輝いてほしい!」という呼びかけをきっかけにスタートした一大プロジェクト。公募により集まった60歳から91歳の約1,600人の高齢者が舞台に上がる前代未聞の大群集劇。『ロミオとジュリエット』を下敷きにした、「老人の夢」がテーマの作品。劇団「はえぎわ」主宰のノゾエ征爾が脚本・演出を担当する。

[日程] 12月7日

[会場] さいたまスーパーアリーナ

●千葉市

千葉県文化会館

〒260-8661 千葉市中央区市場町11-2

Tel. 043-222-0201 小林伸一

<http://www.cbs.or.jp/chiba/index.html>

見る、知る、伝える千葉～創作狂言 里見八犬伝 其ノ零(エピソードゼロ)～

11年目を迎える創作狂言プロジェクト。和泉流狂言師・小笠原匡を招き、房総に伝えられた民話や伝承を基にした狂言を、千葉大学の学生や市民らの手で、小道具などから舞台をつくってゆく。今年は『南総里見八犬伝』を基にした創作狂言を上演。創作狂言ワークショップも開催され、地元の伝統文化の魅力を再発見していく。

[日程] 12月11日

[会場] 千葉県文化会館



昨年の公演『やぶしらず』

●東京都板橋区

板橋区立美術館

〒175-0092 板橋区赤塚5-34-27

Tel. 03-3979-3251 植松・伏見

<http://www.itabashiartmuseum.jp/>

発信//板橋//2016 江戸—現代

板橋区からの新しいアートの発信を目指し3年ごとに開催している「発信//板橋」シリーズの3回目。今回は区在住の彫刻家・深井隆をコミッショナーに迎え、現代の美術に江戸の美術を重ね合わせた表現をテーマに開催。絵画や版画、彫刻、根付、蒔絵によるネイルアートなど、多様な表現による7名の作家の作品を展示し、日本人の感性に息づく豊かな“源泉”を浮き彫りにする。

[日程] 12月3日～2017年1月9日

[会場] 板橋区立美術館

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

●東京都豊島区

あうるすぽっと(豊島区立舞台
芸術交流センター)
〒170-0013 豊島区東池袋4-
5-2 ライズアリーナビル3F
Tel. 03-5391-0751 岸本匡史
<http://www.owlspot.jp/>

あうるすぽっとプロデュース 『ノイズの海』

ロンドンを拠点として20カ国40
都市以上で活躍中のダンスアー
ティスト・南村千里による新作
公演。ろう者でもある彼女が感
じる音楽と、きこえる人が感じ
る音楽は、どこが同じでどこが
違うのか。ライゾマティックスリ
サーチによるデジタル表現とダ
ンスムーブメントで、新たな「音/
音楽」の世界を創造する。
[日程] 12月15日～18日
[会場] あうるすぽっと

●東京都八王子市

伝承のたまてばこ事務局
〒192-0066 八王子市本町24-1
いちようホール2F(八王子市学園
都市文化ふれあい財団内)
Tel. 042-621-3005 木村美紀子
<http://www.denshonotamatebako.tokyo>

伝承のたまてばこ ～多摩伝統 文化フェスティバル2016～

八王子駅周辺のまちなかを舞台
に農村歌舞伎、祭囃子や八王子
芸妓衆の踊りなど、多摩地域・
八王子に伝わる伝統文化・芸能
の魅力に世代を越えて楽しんで
もらうフェスティバル。明治から
昭和初期まで八王子で大衆娯
楽として演じられていた「影絵」
に欠かせない道具である種板
の制作、染物工房での染物体
験といったワークショップも開
催する。東京造形大学大学院
Hachioji影絵プロジェクトによる
新作公演も。東京2020公認文
化オリンピックアード。
[日程] 11月26日、27日
[会場] JR八王子駅周辺

●横浜市

横浜美術館
〒220-0012 横浜市西区みな
とみらい3-4-1
Tel. 045-221-0300 端山聡子
<http://yokohama.art.museum/>

横浜美術館コレクション展 2016年度 第2期「描かれた横浜」

コレクション展の4セクションの
うちの1つ「描かれた横浜」を、
教育プロジェクトチームが初め
て担当。各時代にさまざまな作
家が横浜の風景をとらえた油彩
画や日本画、版画、写真など58
点を紹介。歴史や背景を知るこ
とで作品理解のきっかけを見つ
ける試みとして、専門家を招い
たレクチャーやボランティアによ
る「美術で街歩き」を実施。
[日程] 10月1日～12月14日
[会場] 横浜美術館

●神奈川県座間市

座間市スポーツ・文化振興財団
〒252-0021 座間市緑ヶ丘1-
1-2
Tel. 046-255-1100 星野渉
<http://www.ny.airnet.ne.jp/harmony/>

創作オペラファンタジー『目覚め の時』～眠り姫へのオマージュ～

市民オペラ公演を定期的に行っ
てきたハーモニーホール座間の
9年ぶりの新作。童話を題材に
した日本語のオペラで、今後も
市民や子どもたちが自由に上演
できるように同財団が作成。出
演する51人の市民合唱団が「誰
もが参加でき、多くの人の手で
創り上げる」を目標に、4月から
重ねてきた練習の成果を披露
する。
[日程] 12月11日
[会場] ハーモニーホール座間

北陸・中部

●富山県富山市

富山県立近代美術館
〒939-8636 富山市西中野町
1-16-12

Tel. 076-421-7111 碓井麻央
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm>

ありがとう近代美術館 PART2 MOVING!ーミュージアムが「動く」

富山県立近代美術館の移転前
最後となる展覧会。コレクション
作品に加えて、個性豊かな3名
のアーティストが参加し、多くの
人々と一緒に美術館の場を生か
した展示をつくり上げる。伊藤
公象はインスタレーション作品
《木の肉・土の刃IV》を来館者参
加型で公開制作。浅井裕介は
会期前に2週間滞在し、富山の
土を取り入れた泥絵作品を、一
般公募の制作サポーターと協力
しながら制作。田村友一郎は富
山県出身の経歴を基に、富山を
テーマとした新作を出品。
[日程] 12月3日～28日
[会場] 富山県立近代美術館



伊藤公象《木の肉・土の刃IV》(1996年)
富山県立近代美術館蔵

●名古屋市

名古屋市文化振興事業団
〒461-0004 名古屋市東区葵
1-3-27
Tel. 052-931-1811 前田美和子
<https://www.bunka758.or.jp/>

芸創コラボ『日本人のDNA 椿 説曾根崎心中夢幻譚』

名古屋市文化振興事業団のネッ
トワークを活かし、地元芸術文
化団体と連携して名古屋の独創
性のある芸術文化の発信を目的
とした「芸創コラボ」企画。今年
度3事業を予定しているうちの
ひとつ。第1部では奈良時代に
さかのぼる伝統芸能の歴史を

紹介。第2部では近松門左衛門
の名作『曾根崎心中』の平成版
を上演。オーケストラと邦楽器
が奏で、日舞と能が舞い踊る。
[日程] 12月10日
[会場] 名古屋市芸術創造センター

●愛知県豊田市

豊田市美術館
〒471-0034 豊田市小坂本町
8-5-1
Tel. 0565-34-6610
<http://www.museum.toyota.aichi.jp/>

蜘蛛の糸

国内を中心とした近現代の絵画
や彫刻、工芸、写真、映像、絵
本、インスタレーションといった
さまざまな表現を、「蜘蛛の糸」
というキーワードから広がる幾
つかの視点から紹介し、その謎
めいた魅力を探ろうとする展覧
会。芥川龍之介『蜘蛛の糸』を
はじめとした6つの章が立てられ
、およそ80名の作家による作品で
構成される。
[日程] 10月15日～12月25日
[会場] 豊田市美術館

近畿

●三重県津市

三重県文化会館
〒514-0061 津市一身田上津
部田1234 三重県総合文化セン
ター内
Tel. 059-233-1112 宇田恭子
<http://notes-exchange2016.tumblr.com/post/149602568945/intro>

三重県文化会館プロデュース 「日本」と「台湾」の2つの劇団に よる3年間の国際プロジェクト

津市美里町を拠点に活動する
劇団「第七劇場」と、台湾・台北
市を拠点に活動するカンパニー
「Shakespeare's Wild Sisters
Group」による3年間にわたる国
際共同演劇プロジェクト。長期
スパンで計画することで、より
親密な文化交流と作品制作を
目指す。1年目の今年はドストエ

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

フスキーの作品をそれぞれの劇団が、お互いの役者を1名ずつ交換した上で舞台化。このほか関連企画として台湾文化の体験ワークショップなども実施。

[日程] 11月26日、27日

[会場] 三重県文化会館

中国・四国

●岡山県倉敷市

倉敷市立美術館

〒710-0046 倉敷市中央2-6-1

Tel. 086-425-6034 佐々木千恵

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kcam/>

コレクション展 遠い昭和— 没後30年・岡本唐貴—

大正末から昭和にかけて特異な足跡を残した倉敷出身の洋画家・岡本唐貴(おかもととうき 1903~86)の没後30年を記念した、館所蔵品による特別展示。前衛美術運動やプロレタリア美術運動、民主主義社会における新たなリアリズム絵画の追求など、岡本の足跡を油彩やポスター、デッサン、関連資料でたどるとともに、同時期の美術を紹介し、「昭和」という時代を新たに見直す機会とする。

[日程] 10月26日~12月18日

[会場] 倉敷市立美術館

●山口県長門市

ラポールゆや

〒759-4503 長門市油谷新別

名833

Tel. 0837-33-0051

<http://rapportyuya.wp.xdomain.jp/>

油谷こどもミュージカル創立15周年 記念公演『オズの魔法使い』

油谷町文化会館(現ラポールゆや)開館5周年記念事業として企画され、今年で創立15周年記念を迎えるこどもミュージカルの記念公演。市内の小学4年生から高校生を中心に構成され、衣装や大道具製作も市民ボランティアにより行われる地元密着

型のミュージカルで、毎年公演を行っている。今回は15周年を記念して3月に山口市での公演も予定されている。

[日程] 12月18日

[会場] ラポールゆや



第14回公演『夢の続きは、夢の中』

●徳島県徳島市

徳島県文化振興財団

〒770-0835 徳島市藍場町2-14

Tel. 088-622-8121 川口剛

<http://www.kyoubun.or.jp/>

徳島邦楽ルネッサンス 第1章 「邦楽と洋楽の止揚」

徳島の地に深く根づいた邦楽の魅力を紹介していく事業。3年目を迎える今年度の第1章は、邦楽の国際化を目指した徳島県出身の作曲家・三木稔の作品を中心に、高橋久美子による委嘱新作などを演奏する。同時期に開催される「第4回全国邦楽合奏フェスティバル」の参加者約30人も三木の『巨火』を合同演奏する。第2章は3月25、26日に開催。

[日程] 12月10日

[会場] あわぎんホール

九州・沖縄

●福岡県田川市

田川市美術館

〒825-0016 田川市新町11-56

Tel. 0947-42-6161 大庭ほなみ

<http://tagawa-art.jp/>

開館25周年記念

アーティストの反骨精神「沸点」

かつて筑豊炭田で過酷な労働を強いられていた人々が抱いていた反骨の魂に着目し、昭和から現在に至る日本の美術のなか

に見られる、心の奥底から沸々と湧き上がる“反骨精神”を伝える展覧会。絵画や版画、写真、イラスト、彫刻、陶芸、演劇などさまざまな分野のアーティスト42名による、気骨あふれる作品を展示。

[日程] 11月18日~12月25日

[会場] 田川市美術館

●熊本市

熊本県立劇場

〒862-0971 熊本市中央区大江2-7-1

Tel. 096-363-2233 貴田雄介

<http://www.kengeki.or.jp/>

夏目漱石来熊120年記念能楽講座 漱石と能

宝生流の謡を習うほど能楽の愛好家だった夏目漱石。この講座では「漱石と能」を切り口に、宝生流シテ方能楽師・佐野登を講師に迎え、能楽の魅力を紹介するとともに、漱石は能楽や謡にどのような思いで接していたのか、能役者の視点から紐解く。解説や鑑賞のほか、謡の体験や能装束の着付けのレクチャーも有り。

[日程] 12月24日

[会場] 熊本県立劇場

●大分県大分市

ホルトホール大分

〒870-0839 大分市金池南1-5-1

Tel. 097-576-7555 是永香織

<http://www.horutohall-oita.jp/>

市民参加劇『おおいたみち。』

古墳時代から豊後、現在、そして未来へと続く大分市の歴史、風習などさまざまな“みち”をテーマにした創作劇。市内の歴史探索などのワークショップも開催され、その中で作成した戯曲を編纂して使用しているほか、一般公募で集まった市民が演じる。

[日程] 12月25日

[会場] ホルトホール大分

●大分県大分市

大分県立美術館

〒870-0036 大分市寿町2-1

Tel. 097-533-4501 岡・木藤

<http://www.opam.jp>

オランダのモダン・デザイン リートフェルト/ブルーナ/ADO

家具職人で建築家のヘリット・トーマス・リートフェルト、「ミッフィー(うさこちゃん)」の生みの親ディック・ブルーナ、また本邦初公開の玩具シリーズ「ADO(アド)」を通して、生活と密接に繋がったオランダのモダン・デザインを見る展覧会。12月4日(日)にはADOを所蔵するCODAミュージアムのカリン・レインダース館長によるレクチャーも開催する。

[日程] 12月2日~2017年1月22日

[会場] 大分県立美術館

講座・シンポジウム

音楽ワークショップファシリテーター養成講座

長期的・継続的な視点で地域にワークショップを進行する人材=ファシリテーターを育成する全4回の連続講座。講師に池田邦太郎(帝京平成大学現代ライフ学部児童学科講師)、野村誠(作曲家)、吉野さつき(愛知大学文学部メディア芸術専攻准教授)を迎え、音楽を専門としない公共劇場である穂の国とよはし芸術劇場PLATが、音楽を使ってコミュニケーション不足や想像力不足を補う活動について考察試行する。

[日程] 12月20日~2017年1月24日

[会場・問い合わせ] 穂の国とよはし芸術劇場PLAT

Tel. 0532-39-8810

<http://toyohashi-at.jp>

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

財団からのお知らせ

●新理事長の就任について

平成28年11月1日付けで、板倉敏和(いたくら・としかず)が地域創造の新理事長として就任いたしました。ご挨拶・プロフィールは次号(1月1日発行)に掲載いたします。

●公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業に関する問い合わせ

●ガラコンサートについて
(公財)ひろしま文化振興財団
Tel. 082-249-8385
●アウトリーチフォーラム事業全般について
芸術環境部 佐藤・水上
Tel. 03-5573-4185

●ステージラボに関する問い合わせ

芸術環境部 宇野
Tel. 03-5573-4066

●平成28年度邦楽地域活性化事業

◎地域交流プログラム

●浜田市
[演奏家] 石田真奈美(代表者: 箏曲)、藤高理恵子(琵琶)、田野村聡(尺八)
[日程] 10月13日～15日
[主会場] 石央文化ホール
●江津市
[演奏家] 日原暢子(代表者: 箏曲)、川村葵山(尺八)、渡部祐子(箏曲)
[日程] 10月20日～22日
[主会場] 江津市総合市民センター
●益田市
[演奏家] 樋口千清代(代表者: 箏曲)、三橋乙勢(箏曲)、森田博代(箏曲)
[日程] 10月27日～29日
[主会場] いわみ芸術劇場(島根県芸術文化センター「グラントワ」)

◎総括公演プログラム

●ガラコンサート
[日時] 12月11日 14時開演
[会場] いわみ芸術劇場(島根県芸術文化センター「グラントワ」)

◎問い合わせ

総務部 磯部・鈴江
Tel.03-5573-4143

●平成28年度「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」広島セッション ガラコンサート開催

都道府県と連携してアウトリーチの手法や事業展開の普及などを目指すアウトリーチフォーラム事業を本年度は広島県で実施。3組11名の若手アーティストが参加し、6月に行った研修で創り上げたプログラムで各組が広島県内の2地域を担当。広島市・呉市・三次市・庄原市・東広島市・廿日市市で小学校でのアウトリーチやコンサートを開催しています。

このアウトリーチフォーラム事業の集大成として「クラシック音楽との幸せな出会い」をテーマに、ガラコンサートを実施します。広島各地を訪れた3組の若手アーティストの渾身の演奏をぜひご覧ください。

●平成28年度「邦楽地域活性化事業」(島根県)スタート

地域に日本の伝統音楽(邦楽)の魅力を広めるため、都道府県・政令市と市町村のホールが一体となって邦楽に取り組む「邦楽地域活性化事業」。今年度は、島根県芸術文化センター「グラントワ」を運営する公益財団法人しまね文化振興財団を中心に、公益財団法人浜田市教育文化振興事業団、公益財団法人江津市教育文化財団が連携して実施しています。8月の全体研修会、9月の手法開発研修会を経て、10月には島根県石見地方の3市で順次、地域交流プログラム(アウトリーチおよびホールワークショップ)が行われました。

浜田市を訪れたのは、石田真奈美さん、藤高理恵子さん、田野村聡さん。アウトリーチのテーマは「和楽器との出会い」。和楽器を始めた年齢が、幼少の頃、大学入学後、社会人になってからとメンバーそれぞれで違うことを紹介し、身近でいつでも始められる和楽器の魅力をアピール。ワークショップでは、箏・琵琶・尺八という楽器ごとに違うフレーズを練習した後、全体で合奏すると一つの音楽が出来上がる趣向で盛り上がりました。

江津市には、日原暢子さん、川村葵山さん、渡部祐子さんが訪問。山間の小学校・中学校と海辺の小学校を舞台に、虫や鳥の声、風の音など、自然を楽器で描写する邦楽の魅力を伝えました。ワークショップは「江津の秋」がテーマ。参加者全員で関係するキーワードを出し合い、それを組み合わせで物語をつくり、物語に合わせた音楽を即興で演奏していくなど、単なる和楽器の演奏体験で

[日時] 12月17日(土)

14:00開演(開場13:30)

[場所] 広島県民文化センターホール

(広島市中区大手町1-5-3)

[料金] 1,000円(全席自由、高校生以下無料)

[出演] Lumie Saxophone Quartet、ピエール弦楽四重奏団、トリオ・ノート

●平成29年度ステージラボ開催地のお知らせ

毎年2回開催しておりますステージラボは、平成29年度は前期(2017年7月上旬)に高知県立美術館、後期(2018年2月)は関東圏内で開催する予定です。詳細は決まり次第、地域創造レターでお伝えします。

はない意欲的な内容となりました。

益田市の担当は、樋口千清代さん、三橋乙勢さん、森田博代さん。箏を演奏しながら歌を歌う山田流箏曲の魅力を伝えるため、用意された題材は江戸時代に作曲された『竹生島』。あらすじを紙芝居にして伝え、登場人物を絵にして示すなど、古典曲を小学生が飽きることなく聞けるための工夫がなされていました。一部分は子どもたちと一緒に歌い、演奏家との一体感も。ワークショップでは『七福神』という曲を箏と歌とで体験し、その相乗効果を楽しみました。

来る12月11日には、グラントワで3組9名の演奏家が出演するガラコンサートを開催。演奏家全員と地元グラントワ・ユース・コールによる合同演奏では、和楽器と合唱のために作られた曲『星の美しい村』を、琵琶を加えた新バージョンでお届けします。ぜひご来場ください。



益田市チームによる邦楽アウトリーチ(2016年10月28日/益田市立鎌手小学校)

▼— 今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げて
レポートします

愛知県豊橋市

穂の国とよはし芸術劇場PLAT 高校生と創る演劇 『女子にしか言えない ～プールの底で見た、 私の幻燈～』



『女子にしか言えない～プールの底で見た、私の幻燈～』
写真提供：穂の国とよはし芸術劇場PLAT

＊東三河地域

豊川流域および渥美半島に位置する豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村の8市町村。この一帯を古代の穂国とする説があり、ホールの名称にもなっている。東三河地域の人口は合わせて約77万人。民間から「東三河流域政令指定都市構想」が提言されるなどの合併協議も行われ、現在では豊橋市を中心に豊川流域の一体化を目指したまちづくりなどさまざまな広域連携が推進されている。

●穂の国とよはし芸術劇場PLAT

当初は、豊橋市中心市街地活性化計画において「新しいとよはし」を発信する中核施設として生涯学習センター・図書館・ホールの複合施設を構想。豊川流域の一体化を目指したまちづくりを脱み、現市長により転換が図られ、東三河地域の舞台芸術の鑑賞・創造・発信の拠点として本格的なホール施設をPFI(BTO方式)により整備。演劇事業として鑑賞事業に加え、プロデュース公演(隔年)、「高校生と創る演劇」「市民と創る演劇」「アウトリーチ」「ファシリテーター養成講座」等の人材育成事業を実施。【開館年】2013年4月 【施設概要】主ホール(778席)、アトスペース(可動式266席)、創造活動室7、研修室等 【指定管理者】(公財)豊橋文化振興財団

●高校生と創る演劇『女子にしか言えない～プールの底で見た、私の幻燈～』

【会期】2016年11月5日、6日

【脚本・演出】山田佳奈

【主催】豊橋市・公益財団法人豊橋文化振興財団

愛知県東部、東三河(*)の中心であり、静岡県との県境に位置する人口約37万人の豊橋市。東京駅から新幹線で1時間30分、名古屋駅から30分の大都市に直結する豊橋駅南側に隣接して2013年に誕生したのが「穂の国とよはし芸術劇場PLAT」だ。東三河の舞台芸術の拠点として演劇事業に力を入れ、東京の人材や公立ホールのこれまでのノウハウを生かしたプログラムを展開。その中のひとつが「高校生と創る演劇」で、3回目となる今年は東京から若手劇作家・演出家の山田佳奈(劇団□字ック主宰)を招聘。11月5日、6日にオーディションで選ばれた高校生18人が出演し、12人がスタッフとして参加した『女子にしか言えない～プールの底で見た、私の幻燈～』を発表した。

駅からペDESTリアンデッキで直結したPLATは、1階がガラス張りの交流ロビーになっており、カフェのようなテーブルと椅子で高校生や親子連れが寛いでいた。今回の会場となったアトスペースのロビーは高校生スタッフが装飾を施し、芝居の中で宙を飛んだ巨大なクジラのハリボテも彼らが作成したものだ。

パステルカラーのセット、天井から吊り下げられたランドセルや学校の机や椅子など、まるで子どもの思い出の部屋のような設えの中、芝居が始まった。制服姿の高校生たちが楽しそうに客席から登場し、舞台中央のプールのような四角い窪みに寝転がり、眠りにつく。「誰かにこの声は届いているのだろうか。このまま、ここから出られなくなったらどうしよう」——目覚めた高校生たちは学校生活の賑やかな日常の中で、心の内を覗くように言葉を吐き出していく。

世田谷パブリックシアターを経て、現在PLAT芸術文化プロデューサーを務める矢作勝義は、「公共劇場としてもっと地域と関わる取り組みが必要だと思い、開館2年目から高校生と創る演劇、市民と創る演劇などを始めた。東三河は高校演劇が盛んで、新しい出会いの場をつくれば刺激になるのではないかと思った」と言う。

高校演劇部向けの講座や大会に向けた研修を支援するのと並行し、「高校生と創る演劇」を

企画。14年『転校生』(平田オリザ作)、15年『赤鬼』(野田秀樹作)に次いで、今回初めて創作劇に挑戦し、9月下旬から放課後40日の稽古で作品づくりを行った。

「高校生と真摯に向き合える」と選ばれたのが、カラオケルームを舞台に女性教師が中学生時代の自分と向き合う『荒川、神キラーチューン』を発表している山田だ。「大人になっても子どもの頃に躰いたことを抱えたままの人が沢山いる。それにどこかのタイミングで向き合い、許す作業が必要だ。それで、高校生たちが、今、認めてもらえない、自分を許せないと感じていることに向き合う転機をつくってあげたいと思った。演劇を通じてコミュニケーション力をつけることを目指していたので、心の中に溜まった言葉を身体に流せるように、一人ひとりに向き合い整体のような作業をやった。若者に対してあえて言葉を変えたりはせずに、普段どおりのコミュニケーションとして、身体を触ったり、嘘をつかずに距離を縮めて、あなたに関わりたいというポジティブなスタンスで本音を出せるようにしていった」と話す。

対する高校生たちは、「ここではみんな意見が違っていて、こういう考え方の人もいるんだと視点を変えて見られるようになり、視野が広がった」(山内菜摘)、「普段は女子と関わらないし、敵に回すようなことも絶対言わないけど、“ブス”ってセリフで叫んだり。自分じゃないみたいだけどここまでイライラできるんだとわかったというか、どこかしら大きくなった気がする」(稲吉康平)、「3回とも参加して、自分が自分らしくいられる方法が演劇だと感じた。自分のいいところも悪いところも人に知ってもらいたいと思ったので進路を演劇にした」(中神真智子)、「あまり人と話すのが得意じゃなかったけど、稽古をやる間に先輩とも普通にしゃべれるようになった。学校でも誰とも話せなかったのが話せるようになり、人間が全然怖くなくなった」(鈴木瑠花)と自分の成長を振り返っていた。

ラストシーン、大声ですべてを吐き出した高校生たちは、「生き残るための準備体操」を始めた。演劇にはそういう役割もあるのかもしれないと感じられた舞台だった。(編集部・坪池/工藤)